

迎春

令和三年



芳賀町長 見目 匡

あけましておめでどうございます。皆さまには清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃から町政に対しご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年は「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像とする第6次芳賀町振興計画の中期基本計画2年目として、各施策を着実に進めます。皆さまに「住んでみたい」「住んで良かった」と思っていただけ町を目指し、さらなる事業展開を行います。

宇都宮市と共同で進めているLRT(次世代型路面電車)事業は、開業に向けて軌道敷設工事などを推進します。

栃木県企業局と連携し整備している芳賀第2工業団地は、既存工業団地に隣接した約23ヘクタールの造成工事を進め、優良企業の誘致と早期操業開始を目指します。

梨団地を始めとする農業を支える土地基盤の整備に取り組み、本町の農業振興を図ります。

新たな観光資源となり人が集まる魅力的な地域を生ずる施策として、かしの森公園再整備や、ロマンの湯や道の駅はがと一体となった回遊できる施設、芳賀

遊水地の桜堤の整備を進めます。

昨年4月に立ち上げた「子育て支援課」を中心に、妊娠・出産・子育てへの一体的な支援を行い、子育てしやすい環境を整え、少子化対策を強化します。

昨年10月に実施した、町内全自治会の自主防災組織と町との3度目の合同防災訓練は、感染症対策を含め課題に対処できる防災のあり方を考えるきっかけとなりました。各自治会においては「自助」や「共助」の意識の下、感染症まん延の抑止体制に必要となる臨時避難所の開設訓練にご協力いただきました。新しい生活様式においても、町民の皆さまの安心につながる取り組みに注力していきます。いざというとき「自分の命は自ら守る」行動がとれるよう、今年も地域一体となり、実践的な防災訓練や交通安全のための点検などを行い、災害に強く、安全安心に暮らせるまちづくりを進めます。

結びに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

令和3年1月



芳賀町議会議長 小林 信二

あけましておめでどうございます。皆さまにおかれましては、清々しい新年を迎えられたことと拝察し、心よりお慶び申し上げますとともに、令和3年が輝かしい一年になりますことをご祈念申し上げます。

年頭のご挨拶の機会を頂きましたので、牛(丑)年の由縁について調べてみました。そもそも、牛は草をゆつくり反芻して食べる様子から、何事もじっくり考えて行動し目標に向かってコツコツと努力する、穏やかで温厚な動物です。そんな牛(丑)年は、紐(ひも)から「芽吹きを迎えよう」としている年を表しているのだそうです。「これからの飛躍を予感させる」という意味で、前回の丑年2009年の出来事を振り返ってみると、赤羽有紀子選手が大阪国際女子マラソンで準優勝し、その後11年に同大会でマラソン初優勝を飾り、14年も優勝されました。まさに、大きく躍進していくきっかけの丑年となり、赤羽選手は現在も城西大学女子駅伝部のアドバイザーとして活躍なさっております。

丑年本年の芳賀町の「発展の予感」を考えますと、LRT「次世代型路面電車」は現在、芳賀台付近の軌道予定沿線で工事が進められており、完成に向け事業推進中です。また、「祖陽が丘」に真新しい家々が立ち並

ぶ様子には、人口減少問題を改善するための定住促進ニュータウンとしての進展に期待が膨らみます。

そして何より、現在も不安が続いております新型コロナウイルス感染症については、まだまだ予断が許されませんが、感染防止や克服に向けてのワクチン開発と接種への期待が高まっております。奇しくも2009年には、新型インフルエンザの猛威がありました。私たちが必ず打ち勝ち、希望に満ちた年になると信じております。

私も議員は、任期4年の半分を過ぎようとしております。町への思い・政策や将来への期待は、常に新たにしうるべきであると、自問自答を繰り返しております。

本年が、町民の皆さまにとりまして幸せで和やかな年になりますようご祈念申し上げます、議員一同皆さまに支えられている自覚と矜持を持ち、町勢発展に向かって、努力して頑張っております。

今後とも議会に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和3年1月